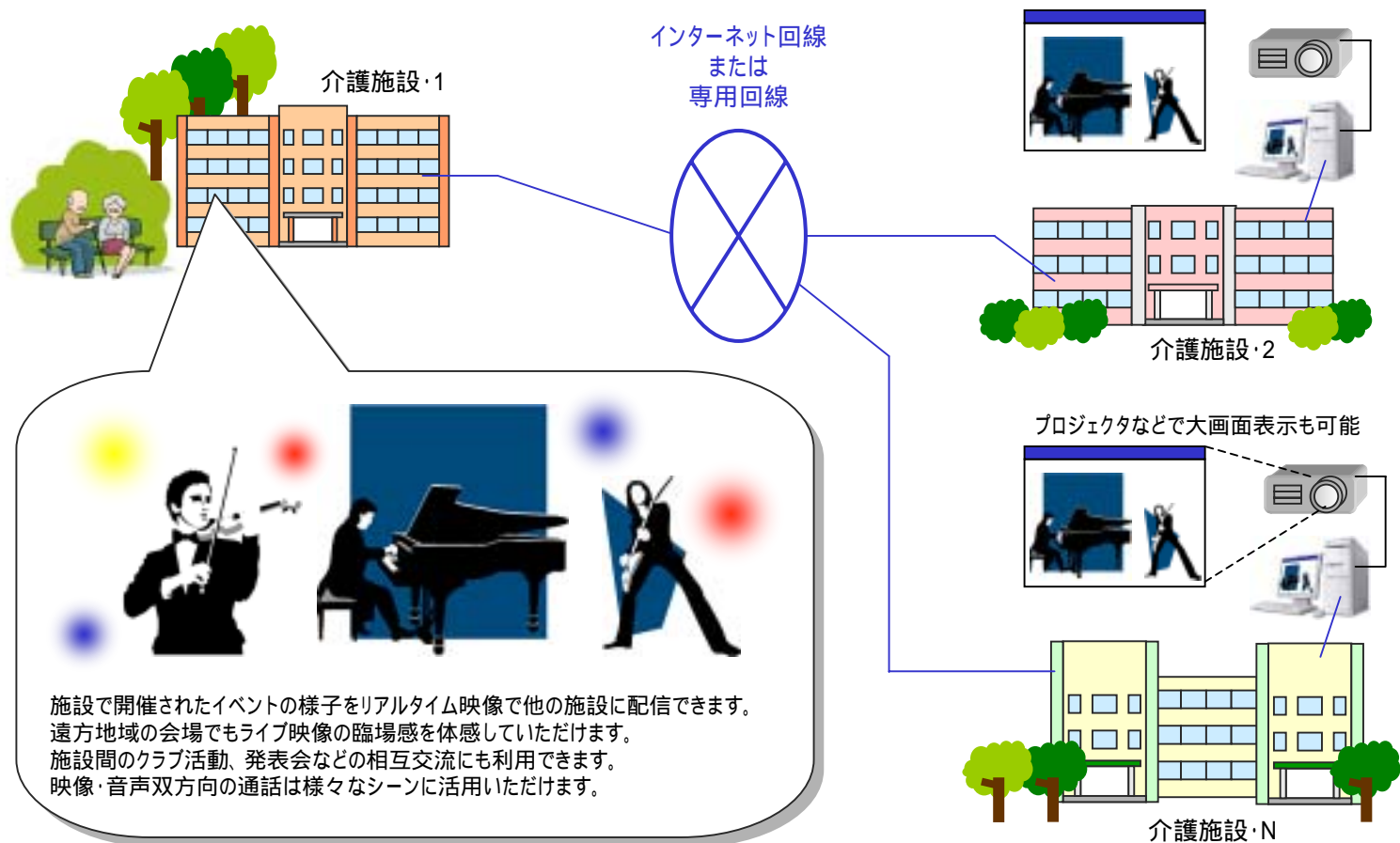


介護施設-他施設間交流ライブ映像送受信システム

多施設間で施設内イベントやクラブ活動発表会のライブ中継に。

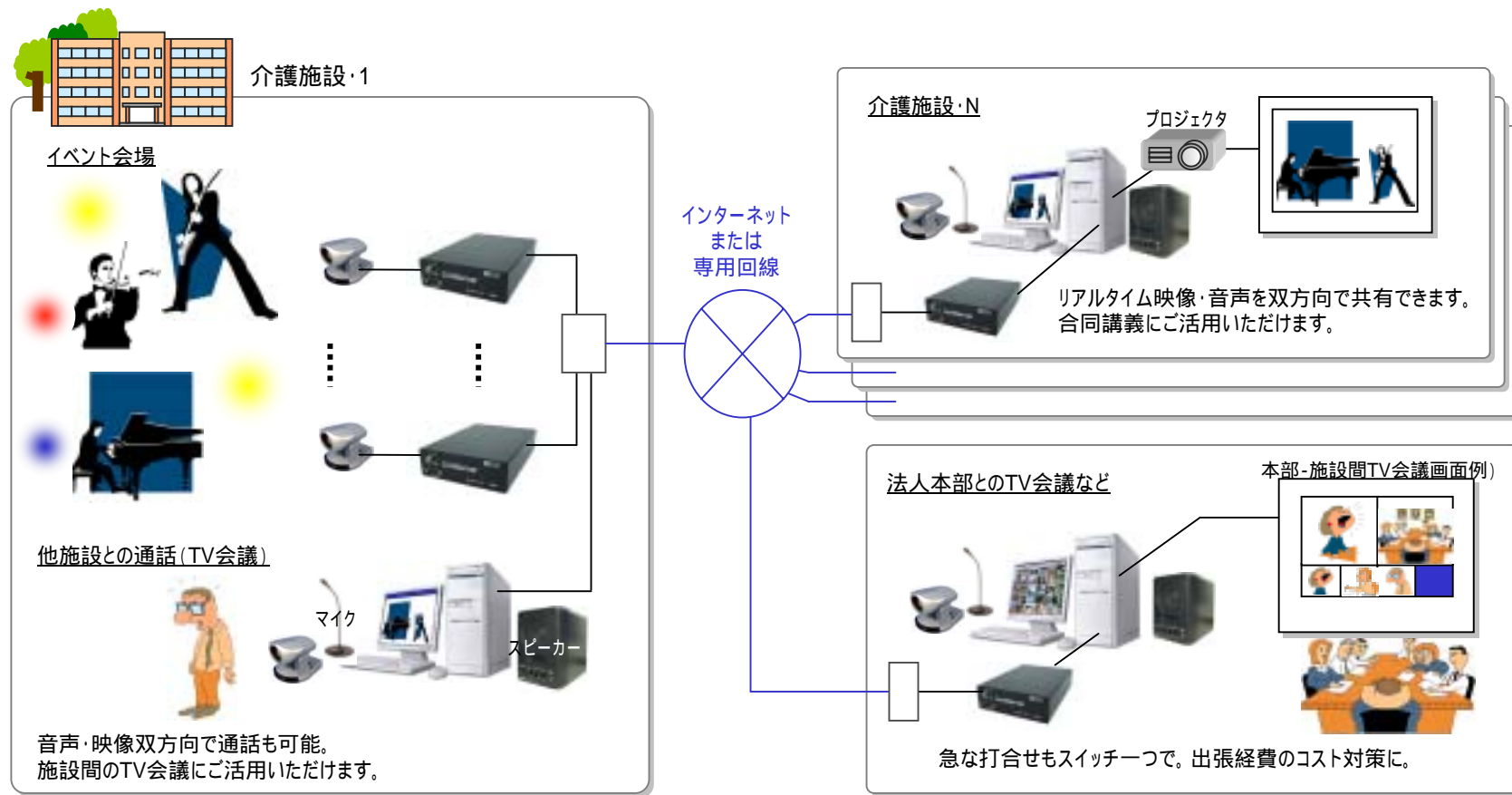


施設で開催されたイベントの様子をリアルタイム映像で他の施設に配信できます。遠方地域の会場でもライブ映像の臨場感を体感していただけます。施設間のクラブ活動、発表会などの相互交流にも利用できます。映像・音声双方向の通話は様々なシーンに活用いただけます。

[ご注意]

ここに掲載するL Sボックスの応用事例は、既に実施中のもの、提案をしたが実現に至らなかったものなどを含めてユーザー各位がL Sボックスの応用を検討するヒントになればと掲載するものです。動作を保証するものではなく、またこれにより実施権を与えるものではありません。

- * インターネット回線や専用回線を使用して、遠隔地の映像・音声をリアルタイムで送受信することができます。
- * 独自の圧縮方式：KAMは、MPEG等一般的な画像圧縮技術に比べてデータサイズが大幅に小さく、ファイル転送時の回線負担も軽減できます。また映像の再生には専用の表示ソフトが必要ですがセキュリティ面の強化にも役立ちます。
- * 2台の「LsBox」で通信することで映像・音声共に双方向で通話が可能となります。遠方の関連施設とのTV会議や、交流イベント、ライブ授業教材としてご活用いただけます。出張経費や移動・準備時間のコスト削減なども見込めます。
- * その他、パソコン画面から電子錠のON/OFF、照明の点灯や警報機のスイッチのON/OFFなども制御できます。



これは基本的なシステムであり、建物の構成、施設の規模など、ニーズに合わせたカスタマイズが可能です。